



サツマイモに事件が…

春に植えたサツマイモの苗がぐんぐん育ち収穫の時を迎えるころ、土から見える先っぽに何やら穴が！「先に虫に食べられたー」「もしかしてもぐら？」「夏にトマト食べられたからカラスじゃない？」と心配する声が上がリ、急いで収穫してみることにになりました。つるを引っ張るとサツマイモがついて来たり、なかなか掘らないと出てこないものがあつたりと子ども達みんな収穫したさつまいもは、土の中の物は皆無事で安心。こんな事件から、自分の手で植え、水やりや草取りもして大切に育ててきたサツマイモを無事掘り終え、より大きな達成感を感じていたさくら組です。秋の実りを通して育てる喜びや自然への感謝の気持ちも膨らんだのではないのでしょうか。



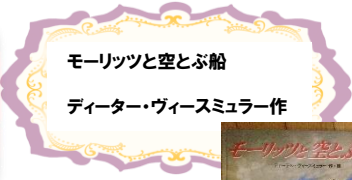
秋の遠足

遠足では、雨の心配もありましたが、運動公園に行きました。いつ雨が降るかと歩くドキドキ散歩。雲の様子も観察しながら大きなクヌギのドングリを見つけ大喜び！バックに入れると紐がちぎれるくらい収穫する子も。こんな遠足も特別な思い出となったのではないかと思います。最近では、考えや発言に成長を感じることも多いさくら組も、どんぐりに目を輝かし、手をつないで並んで歩いている姿はとてもかわいらしく、愛おしく思うひと時でした♡



友達の心を想像し、認め合う

表現会に向けて様々な製作に取り組み中で、客観的に見ることもできるようになり、多様な技法や製作方法があることを理解し、それを認め、相手の立場に立って自分の意見を伝えることができるのがら歳児。友達の良い部分を見つけて認め合いながらもより良い方向に進めるように関わる姿が多く、素敵なお友達があふれています。劇で使用するものや、背景なども達達遊びの中で作ったものも使用していますのでお楽しみに★



モーリッツと空とぶ船
ディーター・ヴィースミュラー作



たくさんの絵本と出会う

小さい頃から絵本などの読み聞かせをたくさんしてもらった経験が土台になって、子ども達の心の中にはたくさんのファンタジーの積み重ねがあります。自分たちの経験を整理したり、未知の出来事を想像したりしながら、物語と現実を交差し、「モーリッツと空とぶ船」と言う絵本から、自分たちらしい物語を表現しようと取り組んでいるさくら組。「ぐりとぐら」から始まり、「エルマーの冒険」などさくら組になって大きな行事も仲間とテーマを共有し、わくわくやドキドキを感じたり、難しいことに挑戦する勇気に繋がったりと日々遊びの中で楽しみながら多くのことを学びました。劇遊びで生まれた想像力は自由な発想を育ててくれる良い経験となることでしょう。また、今年のは合奏はこれまで以上に楽器も増え、多くの冒険を経てたどりついた情熱の島をイメージし「情熱大陸」の曲を、様々な楽器の音色やそれぞれのリズムなど役割を持つことに自信を持ち、熱い気持ちでノリノリで演奏したいと思います。

表現会の衣装のご用意をお願いします。

- ・白ブラウスまたは、白ポロシャツ・体操服ズボン・白ソックス

11月7日（金）に袋に入れて持って来てください。

